

## 2022年9月4日 創立88周年記念礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

### 9月4日 聖日礼拝

前奏	招詞	イザヤ書43章1節
「恐れるな。わたしがあなたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたは、わたしのもの。」アーメン		
会衆賛美	聖歌201	(1～3節)
会衆賛美	御手の中で	(1, 2節)
主の祈り		
交読	詩篇3篇1～8節	
礼拝祈禱		
使徒信条		
聖書朗読	出エジプト記	
説教	過ぎ越し	12章1～14節
会衆賛美	聖歌426	(1～4節)
献金		荻野泰弘牧師
頌栄	聖歌376	
祝禱		
報告		
後奏	感謝祈禱	

### ■聖歌201「罪とがを赦され」(1～3節)

① つみとがを ゆるされ 神の子と なりたる  
わが魂(たま)の よろこび くらべうる ものなし

※日もすがら あかしせん 夜もすがら 主をほめん  
み救いは たえなり み救いは くすしと

② 主にまったく したがひ 安きえし わが身に  
あまつやの うたごえ ひびきくる こちす

③ 主のものと せられし わが身こそ さちなれ  
感謝なき日はなく 賛美なき夜はなし

### ■「御手の中で」

① 御手の中で すべては変わる賛美に  
わがゆく道を 導きたまえ あなたの御手の中で

② 御手の中で すべては変わる感謝に  
わがゆく道に あらわしたまえ あなたの御手のわざを

■**主の祈り** 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名<sup>み</sup>をあがめさせたまえ。御国<sup>みくに</sup>をきたらせたまえ。御心<sup>みこころ</sup>の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用<sup>にちよう</sup>の糧<sup>かて</sup>を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいたしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

### ■交読 詩篇3篇1～8節

- 1 主よ なんと私の敵が多くなり  
私に向かい立つ者が多くいることでしょう。
- 2 多くの者が私のたましいのことを言っています。  
「彼には神の救いがない」と。
- 3 しかし 主よ あなたこそ  
私の周りを囲む盾  
私の栄光 私の頭（かしら）を上げる方。
- 4 私は声をあげて主を呼び求める。  
すると 主はその聖なる山から私に答えてくださる。
- 5 私は身を横たえて眠り また目を覚ます。  
主が私を支えてくださるから。
- 6 私は幾万（いくまん）の民をも恐れない。  
彼らが私を取り囲もうとも。
- 7 主よ 立ち上がってください。  
私の神よ お救いください。  
あなたは私のすべての敵の頬（ほお）を打ち  
悪（あ）しき者の歯を砕いてくださいます。
- 8 救いは主にあります。  
あなたの民に あなたの祝福がありますように。

■**使徒信条** われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる共同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

## ■聖書朗読 出エジプト記 12章 1～14節

- 1 主はエジプトの地でモーセとアロンに言われた。
- 2 「この月をあなたがたの月の始まりとし、これをあなたがたの年の最初の月とせよ。
- 3 イスラエルの全会衆に次のように告げよ。この月の十日に、それぞれが一族ごとに羊を、すなわち家ごとに羊を用意しなさい。
- 4 もしその家族が羊一匹の分より少ないのであれば、その人はすぐ隣の家の人と、人数に応じて取り分けなさい。一人ひとりが食べる分量に応じて、その羊を分けなければならない。
- 5 あなたがたの羊は、傷のない一歳の雄でなければならない。それを子羊かやぎのうちから取らなければならない。
- 6 あなたがたは、この月の十四日まで、それをよく見守る。そしてイスラエルの会衆の集会全体は夕暮れにそれを屠り、
- 7 その血を取り、羊を食べる家々の二本の門柱と鴨居に塗らなければならない。
- 8 そして、その夜、その肉を食べる。それを火で焼いて、種なしパンと苦菜を添えて食べなければならない。
- 9 生のままで、または、水に入れて煮て食べてはならない。その頭も足も内臓も火で焼かななければならない。
- 10 それを朝まで残してはならない。朝まで残ったものは燃やさなければならない。
- 11 あなたがたは、次のようにしてそれを食べなければならない。腰の帯を固く締め、足に履き物をはき、手に杖を持って、急いで食べる。これは主への過越のいけにえである。
- 12 その夜、わたしはエジプトの地を巡り、人から家畜に至るまで、エジプトの地のすべての長子を打ち、また、エジプトのすべての神々にさばきを下す。わたしは主である。
- 13 その血は、あなたがたがいる家の上で、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたのところを過ぎ越す。わたしがエジプトの地を打つとき、滅ぼす者のわざわいは、あなたがたには起こらない。
- 14 この日は、あなたがたにとって記念となる。あなたがたはその日を主への祭りとして祝い、代々守るべき永遠の掟として、これを祝わなければならない。

## ■聖歌 4 2 6 「十字架にかかりたる（ただ信ぜよ）」（1～4節）

①十字架にかかりたる 救い主を見よや こは なが犯したる 罪のため

※ただ 信ぜよ ただ 信ぜよ 信ずる者は たれも みな 救われん

②死より甦りし いのちの主 知らずや 罪に死せる人よ いま 仰げ

③イエスは罪のために 苦しめる者をば 憐れみて救わんと 招きたもう

④罪より救われて 限りなき いのちを 望む者は イエスに 今 すがれ

## ■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず  
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

### 【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう  
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう  
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上にとこしえにありますように アーメン」